

N0214

# 泉南走ろう会

連絡先  
泉南スポーツ社  
0724(83)4653

お知らせ

十一月十四日 九時集合

場所 種河神社

コース 未定

十一月二十一日 九時集合

場所 種河神社

コース 未定

二、大会案内

十一月三日 泉南市民マラソン

参加者は、スタート時間に合わせ集合して下さい

十一月七日 吉野川ハーフマラソン

十時スタート

参加者は、七時に新家駅に集合して下さい。

十一月二十一日 泉佐野市民マラソン

この日は、例会日と重なりましたが、何人か参加される様です。

ちなみに私(岡田)申し込みを忘れてしまい参加出来ません。

十一月二十三日 福知山マラソン

参加予定者は、事務局まで連絡して下さい。

会場へのアクセスは車を予定していますので集合時間等については

別途連絡いたします。今の予定では、新家駅に四時半頃と考えています。

和歌山城高野山110キロウルトラマラソン完走

昨年、泉南走ろう会に入会された唯一の二十歳代で、尚かつ走り始めて間もない、森野君が今年の一〇キロウルトラマラソンに挑戦し見事完走をされました。

この大会では、今までにも何人かの方がウルトラ初完走されていますが、ウルトラ初挑戦には、最高の大会だと思えます。何と言っても自分の実力に合わせて、スタート時間が決められるからです。今年も早い人は、十二時にスタートした人もいた様です。ちなみに、森野君は、四時のスタートでした。次回の機関紙には、森野君の完走記を載せられるかと思えます。

## 村岡ダブルフル参加記

石井繁貴

9月26日、今年も村岡ダブルフルマラソンに参加しました。この大会は88kとは言え、全体の9割が坂で、上り下りの合計はそれぞれ2300mを超す、そして随所に10%を超える長い坂があるなかなかタフなコースです。(富士登山競走の4倍の距離で8割の高低差を上り下りする計算ですね)。でも、コースはきついけど、山の中でも暖かい応援が随所にあります。

この大会には、UMML(ウルトラマラソンのメール仲間のチーム)で100k8:20のランナーが参加しており、密かに彼とのワンツーを狙う。最後の坂で追いつけば勝てる、なんて甘い考えまでもってスタート。

ウォーミングアップをあまりしなかったため、10kは1:00、20kは2:02とゆっくりしたスタート。25k手前では、どうみても50人以上が前にいる。しかもトップグループとはすでに4k程度開いている。6位以内も苦しいか。

30kは2:57。ここから4kで400m、10kでは800mのぼる蘇武ヶ岳は前半のハイライト。上りのコース脇に5mほどの間隔で「ゼッケン〇番〇〇さん頑張れ」と書かれたボードが全員分、ゼッケン順に点々と続きとてもうれしい。(でも、こんな胸突き八丁で「来年もお待ちしています」と書かれてもねえ...) 苦しい上りの筈だが、ウルトラの走りをしていたらあっけなく登れてしまう。普段、泉南はしろう会で岡田さん、徳山さんに鍛えてもらっているおかげだろうか。

頂上手前のエイドで歓迎してもらえ。僕は走っているからよいけど、寒い中まっているのは本当に大変だと思う。ポランティアの皆さんありがとう。

40kは4:08。ここから少し気合を入れて走るつもりだったが、石ころだらけの下りで目論見が外れる。50kは5:02。舗装道路に戻ってからは上り下りとも急で満足に走れない。

但馬大仏の大仏殿の中を走るコースは応援が一段と多いところ。勢いに乗ってメイクミラルクの快進撃をしたところだがペースがあがらない。60kは5:59。今年はこのあたりからランナーの間隔が広がりがりなかなか前が見えない。63kで昨年3位争いをした人を抜き自分の位置が初めてわかる。8位。

74kで目標ランナーの位置を聞く。3位、通過は25分前。聞くんじやなかった。75k通過は7:24。

ここからが正念場、ほい峠。予定ではこのあたりでお楽しみモードから競争モードに帰るつもりがエイドでは立ち止まって話し込んでしまう。80kは8:01。

85kのエイド。昨年はここに寄って2位に置いていかれたので、今年は通過するつもりでいたのに、声がかかると「ちよっとだけ」よること。夜同様お誘いには弱いのです。UMML旗を持ち、8:55でゴール。5位。目標としたUMMLのランナーが迎えてくれました。彼は4位。彼の差は4分弱まで縮めるのが精一杯。40kで10分以内なら、と思っていたのに最初の30kで30分も差がついた(なんと彼は30k2:25で通過していました) 時点で勝負あった、です。

ゴール後はおいしいトシ汁、ぜんざいを何杯もおかわり。ほかのエイド同様、ゴールエイドでポランティアをしてくださる人たちの話も楽しいものでした。

この大会を評して、「美方残酷マラソンを4回走るようなものだ」と何人も人が言っていました。こんな話を聞いて「そんなコース走ってみたい」と思われた方、来年是非一緒に参加しましょう。